



さあ、ここからは JR に関する問題ですよ

岩見沢駅の構内には、道内各地のレールの加工や補修を行う「レールセンター」という珍しい建物があります。この建物の正面の壁にあるマークは、どんな形をしているでしょう？



- ①星
- ②バラ
- ③ラッパ
- ④きじ

JR 函館線と室蘭線には、多くの貨物列車も運行しています。貨物列車が一度に運べる貨物の最大重量は、ある動物の約 100 頭分にあたります。その動物とは？

- ①アフリカ象
- ②カバ
- ③キリン
- ④農耕馬



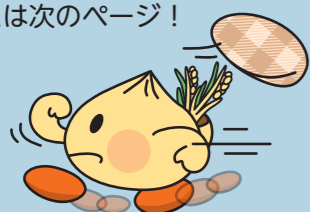
北海道からは、いろいろなものが貨物列車で本州に運ばれていますが、次のうち、一番多いものはどれでしょう？

- ①たまねぎ
- ②じゃがいも
- ③お米
- ④乳製品



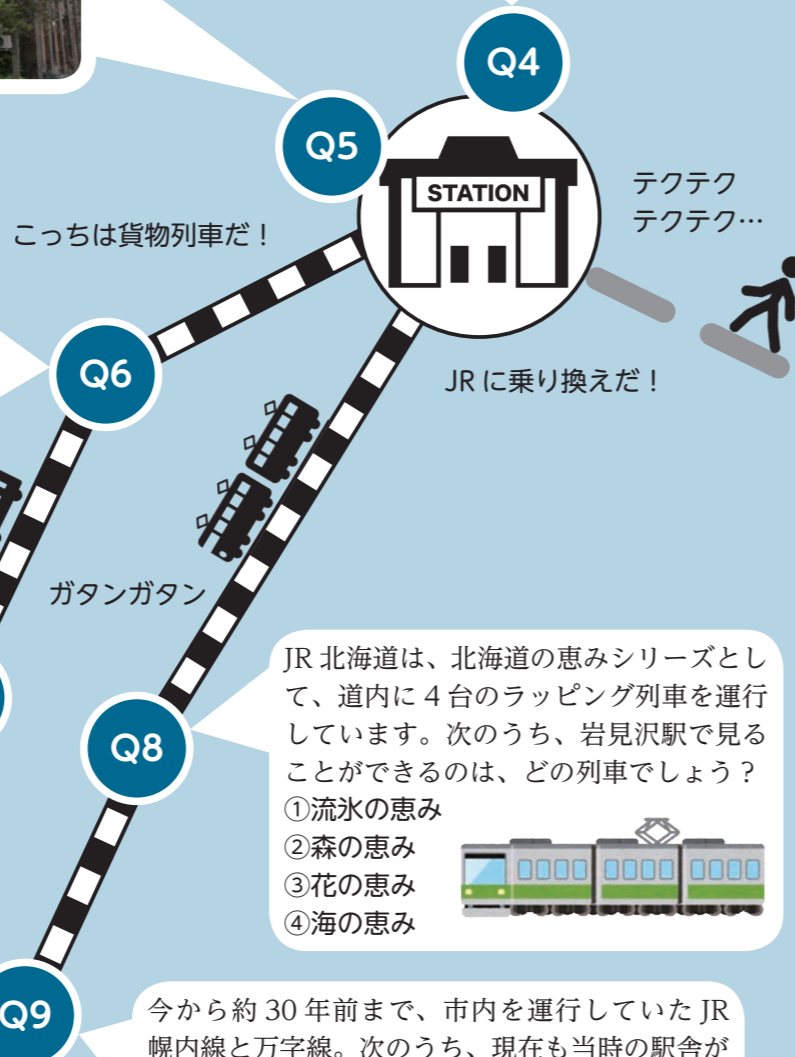
目的地に到着！

全 10 問、答えは選びましたか？
答えは次のページ！



昨年、開業 10 周年を迎えた岩見沢駅、4 代目となる現在の駅舎の窓枠には、実際に使用されていた、あるものが使われています。それはなんでしょう？

- ①架線柱
- ②枕木
- ③レール
- ④ 3 代目駅舎の柱



JR 北海道は、北海道の恵みシリーズとして、道内に 4 台のラッピング列車を運行しています。次のうち、岩見沢駅で見ることができるのは、どの列車でしょう？

- ①流氷の恵み
- ②森の恵み
- ③花の恵み
- ④海の恵み



今から約 30 年前まで、市内を運行していた JR 幌内線と万字線。次のうち、現在も当時の駅舎が残されているのは、どの駅でしょう？

- ①美流渡駅
- ②栄町駅
- ③朝日駅
- ④万字炭山駅



JR 室蘭線でつながる安平町に、来春オープン予定の道の駅「あびら D51 ステーション」の D51 とは、もともと何の名前からとったものでしょう？

- ①飛行機
- ②トラック
- ③機関車
- ④フェリー



今はちようど学校が夏休みです。家族で出かけている方もいると思います。お盆休みに鉄道や路線バスを使って、帰省するという方も多いいのではないのでしょうか。
でも、ちよっと待って！皆さんは、鉄道やバスのこと、どのくらい知っていますか？
鉄道や路線バスなど、自動車や運転免許を持っていないくても、誰でも乗ることができる移動手段が公共交通です。いつも皆さんが食べている肉や魚、野菜といった食べ物や、普段着ている衣服なども、獲れたところや、作られたところから、いろいろ

問合先 市企画室
ろな交通機関で運ばれ、皆さんのも
とに届けられています。
今月号は、クイズで公共交通を学
びます。大人も子どもも楽しめる内
容となっておりますので、お子さんや
お孫さんの自由研究の課題とするの
も面白いかもしれませんよ。

駅まで歩こう！



岩見沢バスターミナルからは、高速バスを除き 15 のバス路線が、市内各所や近くの市や町を結んでいます。このバス路線の運行には、1 日に約何台のバス車両が必要となるでしょう？

- ①約 20 台
- ②約 40 台
- ③約 60 台
- ④約 80 台

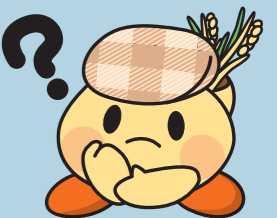


市内には、中央バスと新篠津交通の 2 社が路線バスを運行しています。市内に、この 2 社の路線バスの停留所は合わせて約何カ所あるでしょう？
※停留所の名称ごとに 1 カ所と数えます。

- ①約 60 カ所
- ②約 120 カ所
- ③約 180 カ所
- ④約 240 カ所



バスはよく見かけると思いますが、バスのことをどれだけ知っているのかな？



公共交通



出かけよう！

第 5 便(夏休み特別便)

出発



バスに乗って出発だ！



岩見沢ターミナルを発着するバス路線に、実際にはないバス停は、次のうちどれでしょう？

- ①市営球場前
- ②メープルロッジ前
- ③いわみざわ公園
- ④ワイナリー前





A8 ③花の恵み

JR 北海道は、`北海道の恵み、シリーズとして、道北、道東、道南、道央のエリアごとに計4台のラッピング列車を運行しています。



岩見沢で見ることができるのは、北海道の草花や動物たちを表現した`花の恵み、で、岩見沢や苫小牧、千歳や夕張など、道央地区を運行しています。

道北地区では、幻想的な流水や雄大な自然を表現した`流水の恵み、が、道東地区では、釧路湿原の動植物や十勝の実りを表現した`森の恵み、が、道南地区では、函館の海中や港に生息する生き物を表現した`海の恵み、が運行しています。



A10 ③機関車

JR 室蘭線沿線の安平町では、来年の春のオープンに向け、追分駅近くの国道234号沿いに、道の駅`あびら D51 (デゴイチ) ステーション、の建設が進められています。

平成18年に早来町と合併して、安平町となった追分町は、かつて全国12カ所のうち、岩見沢市とともに国鉄から北海道内で2カ所認定されていた`鉄道の町、で、D51形と呼ばれる蒸気機関車が現在も大切に保存されています。

道の駅には、D51形蒸気機関車の展示のほか、農畜産品や加工品の販売スペースなども設けられる予定です。来年春のオープンが待ち遠しいですね。



A7 ①たまねぎ



JR 貨物の平成27年度の実績によると、北海道から本州へ鉄道コンテナで運ばれた貨物は、約247万トンで、そのうちの20.5%を玉ねぎが占めています。じゃがいもは10.3%、お米は5.0%、乳製品は4.6%です。

北海道から本州に運ばれる貨物は、農産物やその加工品が多く、岩見沢や青函トンネルを経由し、日本中に運ばれています。本州から北海道に運ばれる貨物は、宅配便の荷物や書籍、加工食品や衣類などが主です。



A9 ③朝日駅

かつて市内には、函館線と室蘭線の他に、幌内線と万字線が運行していました。

1987年(昭和62年)に廃止された幌内線は、1882年(明治15年)に全線が開業した北海道で最も古い鉄道の一部で、現在は栄町駅の跡に`幌内線記念の碑、が建てられています。

1985年(昭和60年)に廃止された万字線は、1914年(大正3年)に全線が開通し、志文駅で室蘭線から分岐し、上志文、朝日、美流渡、万字、万字炭山の5つの駅がありました。

これらの駅舎のうち、上志文駅の一部がスキー場の施設として使用され、朝日駅は、当時の姿のまま残されています。



何問正解しましたか？



もし、鉄道やバス、タクシーなどがなかったら、皆さんの暮らしはどうなると思いますか？毎日、利用していても、なくなると困るといえる人が多いのではないのでしょうか。自動車や運転免許を持たない人にとっては、誰もが利用できる公共交通は、買い物などの普段の暮らしに欠くことのできないものです。また、たくさんの人や荷物を一度に運ぶことができるので、排気ガスの量が少なく、環境を守るためにも有効です。公共交通は、利用した人が支払う運賃や料金で運行していますが、昔と比べると、利用する人が減っていき、中にはなくなってしまう鉄道やバスの路線もあります。そうならないように市は、鉄道やバス、タクシーなどの交通事業者と協力して、地域の公共交通を守るための取り組みを進めています。皆さんも、鉄道やバスなどに乗ったとき、暮らしを守る`公共交通について思い出してみてくださいね。



A1 ④ワイナリー前

`市営球場前、は鉄北循環線、`メープルロッジ前、と`いわみざわ公園、は万字線のバス停の名称で、実際に路線バスで行くことができます。

ワイナリーとは、ワインを作るところで、ここ数年、原料のブドウ栽培に適した市内宝水地区や栗沢町上幌地区などに増えており、一部のワイナリーは、内部の見学やワインを購入することもできます。岩見沢ターミナルから、路線バスで直接訪れることは難しく、`ワイナリー前、というバス停もありません。

岩見沢市観光協会では、ワイナリーなどをタクシーで巡るモニターツアーを実施しています。



A2 ④約240カ所

市内には、全部で約240カ所のバス停がありますが、これを多いと思いますか？少ないと思いますか？



約340人に1カ所

岩見沢市には約82,000人が暮らしています。単純に計算すると、約340人に1カ所のバス停があることになりませんが、バス停の近くに暮らしている人もいれば、離れたところに暮らしている人もいます。バスやタクシー、JRなども組み合わせた交通のネットワークで、市内のどこでも安心して暮らせる仕組みを作ることが必要です。



A4 ③レール

岩見沢駅舎を正面から見ると、大きなガラスとレンガが印象的です。

大きな窓部分の窓枠には、JR北海道が道内各地から集めた232本の古いレールが使用され、一本一本、製造された年や月、場所などが刻印されています。最も古いもので、1890年ごろに製造されたものが確認されており、初代岩見沢駅ができたのが、1884年(明治17年)ですから、その頃のレールが使われていることになります。



A3 ②約40台

市内各所や近くの市や町を結ぶバス路線では、約40台のバス車両が運行しています。

路線数の2倍以上の台数があることになりませんが、毎日、朝早くから夜遅くまで走るバスは、日々、順番に清掃や点検、整備などが行われ、いつでも安全に走れる状態を保たなくてはなりません。

また、バスの運転手さんは、交替でバスを運転していますが、風邪や寝不足に注意し、休みのときも、規則正しい生活をすよう努めており、私たちが安心して利用できるよう支えてくれているのです。



A5 ①星

岩見沢駅の北側には、`レールセンター、というレンガ造りの古い建物があります。この建物は、室蘭線が開通した1892年(明治25年)ごろに建てられたと言われており、その後、北海道炭鉱汽船という会社に払い下げられました。

建物の壁にある星のマークは、`五稜星、と呼ばれ、北海道炭鉱汽船の会社のマークです。

レールセンターは、1906年(明治39年)に国の所有となり、現在はJR北海道が使用しています。明治中期の建築様式が残された貴重な建物が、現在も現役で使われているなんて驚きですね。



A6 ①アフリカ象



貨物列車は、最大26両編成で約650トン(道内は最大20両編成で約500トン)の貨物を運ぶことができます。アフリカ象1頭の重さを平均約6.5トン、カバを約1.5トン、キリンと農耕馬を約1トンとすると、貨物列車は、アフリカ象100頭を一度に運ぶことができます。農耕馬は、岩見沢駅のホームでも実物大の像を見ることができますよ。

トラックや船、飛行機、貨物列車など、さまざまな交通機関で荷物が運ばれていますが、それぞれ長所と短所があります。いろいろな輸送手段の組み合わせで、日本の隅々まで食べ物や生活用品が運ばれているということです。